

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：明日葉保育園東戸塚園	種別：認可保育所
代表者氏名：谷口真由美	定員（利用人数）：70名（利用人数82名）
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町147-1	
TEL：045-825-5414	
ホームページ：https://www.ashita-ba.jp/hoiku/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社あしたばマインド	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 14名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士
	保育士
	看護師
施設・設備の概要	（居室数）保育室6、 ホール1、 事務医務室1、 調理室・厨房1
	（設備等）調乳室1、 園庭1、 各室冷暖房、 0歳児のみ床暖房

③理念・基本方針

保育理念：「子どもの明日を育み、今日を支える」

子どもが毎日を豊かに過ごせる保育を通じて、明日をたくましく生きる力を育み、家庭と地域社会とのコミュニケーションを大切にし、よりよい今日をサポートします。

保育方針は、子どもが、今日を最もよく生き、望ましい「明日」を創りだす力の基礎を培うとして、子どもを尊重したものになっています。自分も人も尊重できる・自分で考えて正しい事を学び取る・自分の思いを適切に表現できる・ここも体もすこやかな子どもに育ててゆきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

・給食が母体の会社なので、食育活動を行っています。年齢に応じた食事量、切り方の工夫をするとともに0歳児クラスでは、離乳食ブックを活用し園と家庭とでの食材の進み具合を把握、必要に応じて栄養士が相談に乗るなどの対応をしています。また、野菜の栽培や収穫、年1度の親子クッキング、季節の旬な野菜を使ったメニュー、行事に合わせたメニューや盛り付けを工夫することで子どもの食への関心が深まるように取り組んでいます。

・毎月お誕生会を開催し誕生月の園児の保護者に参加していただいています。その後、クラス内で子どもたちと遊びに参加、給食の試食会を実施しています。集団で我が子の様子を知り、食事の様子を確認していただいています。

・幼児クラスを中心に異年齢保育を計画し、お店屋さんごっこ・リレー遊び・運動会のダンスプログラム・遠足等様々な企画をする。その中で子どもからの意見を取り入れることで子ども自身が楽しんで参加できるように工夫をしています。

・体操・ダンス・リトミックなど専門の講師による保育の取り組みを行い、仲間との関りを助長し子どもの知育を十分に促すとともに、保育士の学びの場にもなっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年9月8日（契約日） ～ 令和3年3月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成28年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)豊かな食育で子どもの五感を育てています

「食育」は子ども自身が「食」に対する正しい姿勢や知識を身につけ、健やかに、より良く生きていくための基本との理念です。法人の管理栄養室及び学校給食事業部の全面協力により、様々な食育プログラムを実施し、楽しく「食育」を身につけて欲しいと思って実施しています。

食べるものの姿を知ったり、育てたり、その姿や感触から子どもたちが感じ取る事、又、味わう事で体だけではなく、気持ちもうれしかったり、不思議と感じるなど、食を通した様々な体験ができるようなプログラムを実施しています。子どもたちの感性を豊かにする経験を通じて、自分でいろいろな事を考え、工夫することを体験して、自主性だけではなく自発性も育まれる食育を実施しています。

2)職員が保育に関して同じ方向を目指し保育の質の向上を図っています

日々活用するマニュアルについては、職員間でどのようにしたら良いかなど話し合う機会があります。職員は自主的に、自分の経験や事例をそれぞれまとめて、0～5歳児6クラスが時間を作り、自主的に集まりミーティングを行っています。

園長、主任は職員が自主的に全クラスで取り組めるようにしています。わかりやすい園独自のマニュアルにて使いやすく、日常の職員同士のコミュニケーションが良い状態です。職員には「一人ひとりの子どもたちを丁寧に大切に」という園の方針が浸透し、同じ方向を目指す保育に取り組んでいます。

3) LINEを活用した情報共有の取り組み

保育園の情報の共有化については、パートナー（非常勤職員）間の情報の共有化の徹底に向けて、LINE（コミュニケーションアプリ）を活用して必要な情報を職員間・パートナー間で速やかに回付するようにしています。情報が確実に周知されるようになり、円滑な保育園活動に繋がっています。さらに共有の情報については、保育園の更衣室のボードなどに記載し、周知を図っています。

◇改善を求められる点

1)法人の事業計画の運営に関する考え方などについての説明

保育事業については経営の観点から、さらなる保育園の効率化（経費削減など）が求められています。法人の事業計画の運営に関する考え方や保育園からの要望事項に対する法人の対応状況などを適切に職員に伝え、職員の意欲向上に努めていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

「子どもの明日を育み、今日を支える」という理念の下に、子どもの育ちを見守っています。保育園名の由来にもなっている“明日葉”の花言葉は「旺盛な活動力」私たちは、子どもが毎日を豊かに過ごせる保育を通じて、明日をたくましく生きる力を育みたいと思っています。

今回の第三者評価では、園開放や育児相談など地域に対しての発信の工夫、全職員の情報共有の徹底など、具体的な気付きやヒントをいただくことができ、視野が広がりました。改善を求められる点に関しては、十分に連携を取り、さらに充実した園を目指したいと思います。

子どもたちが毎日を楽しく安全に過ごせるよう、また保護者の皆様が安心して預けることができるよう、職員一同、子ども一人ひとりを丁寧に見ることを心掛け、今後も務めて参ります。

最後に今回の第三者評価に際して、ご尽力いただいた評価機関の皆様、そしてご多忙にもかかわらず、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり